



自主独立



静岡市立清水袖師中学校

学校だより

令和5年度 12月号

身の回りのことに少しずつの挑戦を

校長 藁科 彰良

後期になり約2か月が経過しました。11月中旬に生徒総会があり、2年生中心の生徒会活動も軌道に乗り、小林会長を中心に「挑戦～自分の意見をみんなにシェア～」のスローガンのもと、様々な活動をしています。あいさつ運動や朝の清掃活動など活発な取り組みがなされています。また部活動においても、新人戦など各大会で頑張る姿が見られています。吹奏楽部は青少年育成大会、横砂まつりで演奏するなど熱心に取り組んでいます。

12月3日の地域防災訓練では、地区に生徒たちが分かれ、参加しました。小中一貫教育における軸となる取組の「しずおか学」で、清水袖師中学校区は「防災」をテーマに学習を進めています。小学校から積み重ねてきている防災学習の実践として、中学校では地域の一員として防災に取り組むため、地域防災訓練に全員が参加し、地域における防災学習を進めています。4月から1年生は防災ウォークや防災講話、3年生はHUG(避難所体験ゲーム)の活動など進めてきています。現在はインフルエンザの流行もあり、体調不良で参加を見合わせる生徒もいる中での活動とはなりますが、各地区とも様々な活動を行い、生徒の参加を受け入れてくださいました。

当日は深夜に津波注意報が発令され、地区によって開催の内容を変えた地区もありましたが、晴天の気持ちの良い天気の中、生徒は自分の住んでいる地域防災の様々な内容を学習しました。地区全体が参集する地区では生徒が炊き出し、テント設営、人員確認、救護などの各係に分かれて、避難所における体験活動を行いました。地区によっては、防災倉庫の中にある機材の確認や発電機など実際に動かしてみたり、安否確認の集計の補助を行ったりするなど様々な活動を体験することができました。活動後、生徒は学校又は自宅で、この日取り組んだ内容や学んだことをまとめることや地域の防災マップづくり、防災検定のアプリなどで、自分が住んでいるところの防災に関する知識や関心を高めることができました。どの地区においても地域の皆さんの生徒たちへの温かい関わりがあったからこそできた活動です。生徒たちも教職員も袖師地区の地域の支えを感じ取れた一日となりました。ありがとうございました。

このように地域での活動や学校生活において様々なことに少しずつ挑戦していくことで実力はアップしていきます。学習や運動などを伸ばしていくために今まで以上に身の回りのことに挑戦していきましょう。

3年生はいよいよ具体的な進路選択をする時期となりました。自分の将来の夢や適性など、そして、保護者の方の願いや思いをしっかりと見つめ、検討を重ね、最終的に自分で決断していくことが大切です。決断したら迷わず、その目標に向かって地道に取り組んでください。それを学校としてもしっかりと支えていきます。保護者の皆様の温かな応援とご支援をよろしくお願いいたします。

令和5年の終わりにあたり、これまでの保護者の皆様、地域の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。



～清水袖師中学区・小中一貫教育の取組を推進しています！！～

令和4年度よりスタートした「静岡型小中一貫教育」では、『小学校と中学校＝たてのつながり』と、『学校と地域＝よこのつながり』を大切にし、地域・保護者と「目指す子どもの姿」を共有し、地域ならではの特色ある教育を推進しています。今年度も、「やさしさと思いやりをもち、主体的に働きかける生徒」の実現に向け、様々な取組が行われています。袖師地区の宝である子どもたちを、学校・家庭・地域が一丸となり育てていくことができるよう、今後とも『たてのつながり』と『よこのつながり』を大切にし、挑戦していきたいと思っております。

小学生授業・部活動参観日



「たてのつながり」



「よこのつながり」



小中袖師あいさつの日



保護司会・社会を明るくする運動